

平成最後の新学期、現代ビジネス学部は第4期生を迎えました。ようやく4学年そろい、完成年度となります。現代ビジネス学部の教育の特長でもある「プロジェクト学習」の内容もますます充実してきました。今回は新1年生のオリエンテーションと春休みのプロジェクト関連活動についてお伝えします。

ようこそ！ 現ビス4期生



2019年4月3日(水)、本学体育館にて入学式を挙行し、現代ビジネス学部は107名の新入生を迎えました。現ビスでは、経済・経営分野における「理論×実践」の学びを通じて、社会で通用する力を養い、ビジネスの力でそれぞれの地域を元気にできる人を育てます。4期生には、地元兵庫県のみならず、北海道や中国・四国、九州出身の学生もいます。同じ志を持つ仲間と切磋琢磨し刺激しあいながら、成長していくことを期待しています。

翌4月4日(木)オリエンテーションのスケジュールの合間に、現ビス恒例の新入生の集合写真をキャンパスで唯一満開を迎えている桜の木の下で撮影しました。



フレッシュマン・セミナー



キャンパスの桜も満開近くなった4月6日(土)に、新入生を対象とした「フレッシュマン・セミナー」を開催しました。現代ビジネス学部では、現ビスでの特色ある学び、大学生活の心得、4年間の履修モデルの作成、キャンパス内見学など、先輩学生スタッフや先生方の指導の下、さまざまなプログラムに取り組みました。

現ビスの特色ある学びとして、(1)プロジェクト学習、(2)短期語学留学、(3)ボランティア、(4)インターンシップ、(5)公務員対策講座について紹介しました。プロジェクト学習では、昨年度取り組んだ「てらこやプロジェクト」、インターンシップについては、地元の信用金庫での体験談など、先輩学生が分かりやすく説明しました。

午後からは、4年間の履修モデルとして、グループごとに「地元市役所でITの力を活用して地域活性化に取り組みたい学生」「将来はホテルで働き、海外のお客様に日本のすばらしさを伝えたい学生」など課題にあった履修計画を話し合い、発表しました。はじめて出会う友人とチームワークよく課題に取り組み、学生生活の良いスタートとなりました。



志プロジェクト 成果報告会

2019年2月21日(木)に、現代ビジネス学部3年生がプロジェクト実践で取り組む「志プロジェクト」の報告会を開催しました。「志プロジェクト」は、富士ゼロックス株式会社の社会貢献事業で、地元の大学生が地元企業に企業訪問し、経営者から直に会社経営についての話をうかがい、学生目線での会社案内を作成するプロジェクトです。2018年度は、ホテルセトレ等の事業展開をされている(株)ホロニックと、地元のケーブルテレビを運営するBAN-BAN ネットワークス(株)の学生向け会社パンフレットの制作に取り組み、その活動成果を発表しました。発表後は、ご協力いただいた企業の方や富士ゼロックスの担当者の方と学生が懇談を行いました。有意義な意見交換会となりました。



加古川市「協働のまちづくり推進事業」に採択されました

加古川市がさまざまな地域の課題解決に取り組む事業に関する経費の一部を補助する「協働のまちづくり推進事業」に、兵庫大学から5団体が申請しました。書類審査と公開プレゼンテーション(3月19日開催)を経て、5団体の事業すべてが採択され、2019年度事業展開することとなりました。

採択事業は以下のとおりです。

- *兵庫大学ロコモ予防講座
- *兵庫大学キャンパスカフェなごみ サテライト
- *安心!安全!みんなのまち
防災・防犯大型かるたの制作と啓発活動
- *寺家町商店街をアートの町にしよう
- *カローリング世界大会を加古川で開こう

公開プレゼンテーションにおいて、現代ビジネス学部生は、加古川アートセンター構想チームが「加古川でアーティスト in レジデンスを開催しよう」、バナナクラブ「加古川でオリンピックの年にカローリング世界大会を開催しよう」と呼びかけました。現代ビジネス学部では、2019年度のプロジェクト学習の一環として、現ビズ2年生・3年生がチームを編成し「寺家町商店街 アートの町プロジェクト」「カローリング世界大会プロジェクト」に取り組みます。これら事業の進捗状況については、今後現ビズニュースレターでもお伝えします。



Facebook ページ「兵庫大学現代ビジネス学部」にて、現ビズ最新情報を随時発信しています。是非ご覧ください。